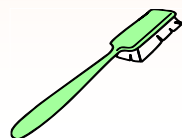


リハビリ通信



正しい磨き方を練習中！

現在、各病棟を対象に『口腔ケア』と称し歯科衛生士が中心となり患者様への歯磨き方法や嚥下体操の指導、疾病予防のための知識の伝達などを行なっています。毎回 20 名程の患者様が積極的に参加され、知識を深めています。



演芸大会

2月19日に第2回演芸大会が開催されました。日頃の練習の成果を発表したダンスチーム、ハンドベルを始め、各病棟の患者様も発表の機会があり合唱、踊り、詩の朗読などを行いました。会場が一体となって盛り上がり、笑顔の絶えない楽しい会となりました。



～ お知らせ ～

○ 第5回家族懇談会

平成 21 年 3 月 28 日（土）多目的ホール（給食センター2 階）にて家族懇談会を開催致します。受付開始は 13：00～、開会は 13：25 となっております。当日は精神保健福祉士の講演を予定しております。大勢のご家族様のお越しをお待ちしております。

○ グループホーム、作業所について

平成 21 年 1 月の開所予定であった作業所「ハーモニー」と障がい者グループホーム「森の家」が着工の運びとなりました。

それぞれ、7月と10月のオープンを予定しています。詳細が決まりましたらご案内致します。

うきうき編集後記

はじめまして！昨年の9月から埼玉森林病院の職員になりました地域医療連携課の田島です。あっという間に年が明け、気がつけば春の気配がすぐそこまで訪れています。みなさん今年の目標は立てられましたでしょうか？

私の目標は『新しい発見をたくさんできる1年にする！』です。

これから色々なことを覚えて人として、職員として成長していきたいと思っていますので今後ともどうぞよろしくお祈りします。

田島 希美



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町大字和泉 704

TEL:0493-56-3191/FAX:0493-56-4831

昭友会ホームページ：<http://www.kokoro.or.jp>

もりのたより

医療法人 昭友会 理事長、埼玉森林病院 院長 退任にあたり

この度、平成 21 年 3 月 31 日をもって、医療法人 昭友会 理事長、埼玉森林病院 院長を退任することに致しました。

昭和 52 年 6 月、患者様の為の理想の病院を作りたくてはじめた埼玉森林病院も今年 6 月で 32 年目を迎えます。

今年の 4 月から昭友会は新しい時代に入ることとなります。今までは医療法人と言いつつも、私を中心とした病院で、ひとたび私に何か起これば・・・と常に思い、職員が安心して勤務し理想の病院、施設を築き上げることが出来たのではと考えていました。

更には国が進めようとしている公共的な医療法人に変わるためには個人的な医療法人から脱却しなければならない、又これからは若い人たちによる医療と会社の経営を医療に生かし、脆弱な基盤の医療の体質を力強い医療へと変えなくてはとの思いを強くし、後進に道を譲ることも昭友会の成長の道と想い、数年前より内部の体制強化を始め、安心して任せられそして安定的成長ができる基盤が出来たため、退任することを決意しました。

これは、これからの昭友会の為、職員の為、患者様の為、利用者様の為、そして私の為になると判断したので。

私の始めた埼玉森林病院が、昭友会がいつまでも健全に続くこと、これが私の最大の願いです。

今後、私は新しい仕事と個人的な人生を楽しみたいと思っております。

最後に、三十余年にわたり埼玉森林病院を中心とし昭友会を支えてくれた滑川町の方々、その他多くの方々に感謝申し上げ、今後とも暖かく見守り、応援して下さいをお願い申し上げます。

平成 21 年 3 月吉日

医療法人 昭友会
理事長 工藤 浩三



院長就任のご挨拶

平成 21 年 4 月 1 日付けで、昭友会埼玉森林病院の院長を拝命いたしました。30 年以上の長きにわたり病院を牽引してこられた、工藤浩三先生の後任ということもあり、身の引き締まる思いがしております。

精神科を専門とし、これまで約 15 年の間に、大学病院、精神科病院、メンタルクリニック、老人病院、保健所などで培った経験を生かして、病院職員一同とともに、地域医療に貢献できるよう努力して参りたいと思っております。

埼玉森林病院では、「患者様のために親身でハートフルな医療の提供」の理念のもと、森林公園クリニックと連携して、主に統合失調症、認知症、躁うつ病などの精神疾患に対する入院治療を行っております。その他にも、一般内科外来や歯科外来診療にも力を注いでおります。また、質の高い医療が提供できるよう、病院機能評価の取得や電子カルテの導入などもすでに完了しております。

今後は、不足している医師の充実を図り迅速な対応ができるよう、1 日も早く体制を整えたいと考えております。また、職員各人が専門性を高め、院内の連携を強化し、当院の役割や専門性を明確にし、良質な医療・看護の提供が出来るよう努めたいと思っております。

埼玉森林病院は、まだまだ発展途上にあります。これからも、より一層の努力を重ね、地域の皆様方から選ばれる病院を目指して参りたいと思っております。

皆様方からの、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



平成 21 年 3 月 吉日

医療法人昭友会 埼玉森林病院
副院長 磯野 浩

～院長退任式～



『唾液について』

歯科診療部長(歯科医)

石井 純二

皆さんは口腔内の健康について意識されていると思いますが、歯、歯肉、舌の状態の他に唾液のことも気にされていますか？口腔内の健康を保つにはこの唾液の存在が大きな役割を果たしています。大まかにその機能をあげると次のようになります。

1. 潤滑作用 歯肉や粘膜、舌を覆って咀嚼や嚥下、発音を助ける。
2. 緩衝能 酸、アルカリに対し中性化をはかり酸性に弱い歯を保護する。
3. 保護作用 物理的、化学的刺激から歯肉粘膜などを保護する。
4. 洗浄作用 常に分泌し流れて口腔内に入ってきたものを浄化する。
5. 抗菌作用 唾液に含まれる各種抗菌因子により口腔内環境を保つ。
6. 消化作用 含まれる酵素により炭水化物を分解する。
7. 溶解作用 食物を溶解し舌の味蕾^{ミライ}の作用を助ける。
8. 排泄作用 唾液中の物質は口腔内で吸収されず排泄される。
9. 再石灰化作用 歯の表面を修復する。

以上のような重要な機能を持っており、QOL（生活の質）に大きな影響を及ぼしています。

近年高齢者のドライマウス（口腔乾燥症）が問題になっていますが、唾液の分泌量は健常者の場合、加齢による低下はそれほどないようです。経管栄養等で口腔刺激がないことによる機能低下や稀に唾液腺に影響を与える疾患による場合もありますが、服用している種々の薬剤の副作用による唾液分泌低下のケースが多いと云われています。このような場合は、機能回復の運動や主治医、薬剤師と相談をして薬剤の量、種類の変更などを検討し、病状によりそれが無理な時は、人工唾液や潤滑剤、洗口剤等を使用すると同時に、歯牙う蝕や口腔真菌感染症を防ぐため、また摂食嚥下機能にも影響があるために、医師、歯科医師による定期的なチェックや看護師や歯科衛生士によるプロフェッショナルオーラルケアが必要です。

たとえ若く健康であっても、唾液は就寝中その分泌は低下します。更に口を開けて寝ていれば口腔内は乾燥します。もし一日1回しか歯磨きができないとしたならば、どうか就寝前にしっかり歯磨きをして口腔内を清潔にしてください。また唾液は、抗菌作用がありますが口腔内を不衛生にしていたり、病気に罹患していると細菌、ウィルスの伝播物質にもなります。母親等から子供へ虫歯菌や歯周病菌をうつしてしまうことも多いようですから気をつけましょう。